

歌詞と旋律

「花」

- ・教科書2・3下の4ページをひらきましょう。
- ・インターネット上の次のページをひらき、視聴できるようにしましょう。
 中学校-教芸 教科書掲載 歌唱教材ライブラリー <https://textbook.kyogei.co.jp/library/category/中学校/>
 →「中学生の音楽2・3下」→「花〔歌唱〕」

言葉を大切にしながら旋律を感じ取り、情景が思い浮かぶ表現を工夫しよう。

〈STEP 1〉 ～ 楽譜を見ながら「花」を聴きましょう ～

- ・好きなどころや心に残ったところを、楽譜に印をつけましょう。
- ・好きなどころや心に残ったところについて整理しましょう。

感じたこと	音楽の特徴
(例：まぶしい 感動している)	(例：休符がある 旋律が山なり)

〈STEP 2〉 ～ さらに 詩の情景を感じ取るために ～

- ・意味の難しい言葉について調べ、歌詞を音読しましょう。

うらら	
たとうべき	
錦おりなす	
長堤	
くるれば	
げに	
一刻も千金の	

言葉のまとまりを意識して、音読をしてみましょう。
 詩の中にある、日本らしい言葉のリズムに気が付けるといいですね。



〈STEP 3〉 ～ 歌ってみましょう ～

- ・音楽に合わせて、くり返し歌ったり、聴いたりしましょう。

※歌う時には、その場に合った声の大きさを考えて歌いましょう。



〈STEP 4〉～音楽をじっくり見つめてみよう～

「花」は、1番、2番、3番の旋律が少しずつ違います。



〈リズムに着目して、比べましょう。〉

♪ 1番（教科書p5）と3番（教科書p7）の主旋律を比べ、違うところに印をつけましょう。

1番の2フレーズ目（p4） 教科書を見て、空いている部分の主旋律を写しましょう。



の ぼ り く だ ー り の ふ な び ー と ー が

3番の2フレーズ目（p7） 教科書を見て、空いている部分の主旋律を写しましょう。



く る れ ば の ー ぼ ー る お ぼ ろ ー づ ー き

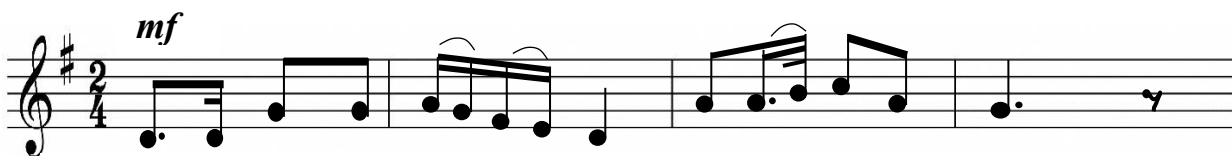
② なぜ違うのでしょうか？理由を考えましょう。



この部分だけではなく、他の部分もリズム、音の動き、強弱、速度の違いがみられます。

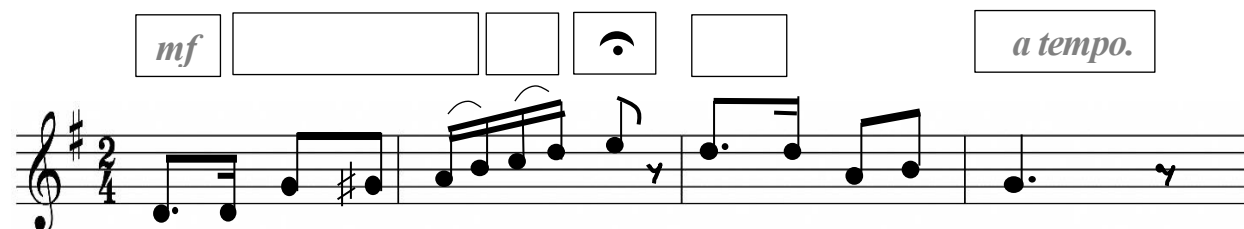
〈その他の音楽の特徴に着目して、比べましょう。〉

1番の4フレーズ目（p5）



1 番 な が め を な ー に ー に た と ー う ベ ー き

3番の4フレーズ目（p7） 教科書を見て、空いている部分に当てはまる音楽記号を書き入れましょう。



3 番 な が め を な ー に ー に た と ー う ベ ー き



同じ歌詞でも、音楽の特徴が多様に変化することによって、1番、2番、3番、それぞれに思い浮かぶ情景がより豊かに色鮮やかに表現されているのですね。

改めて「花」を聴いたり、一緒に口ずさんだりしてみましょう。歌詞の言葉を大切にしたりした旋律の心地よさ、歌詞に描かれている情景の美しさがより感じられ、この曲のよさがさらに味わい深いものになると思います。

【改めて聴いた感想】

【振り返り】

①歌詞と旋律の関わりが分かった。

(*^^)v (^^) (-_-)

②曲のよさや美しさを感じることができた。

(*^^)v (^^) (-_-)

〈チャレンジ学習〉

さらに一歩、音楽に深くかかわってみましょう！
この曲のよさがもっともっと実感できます。



〈チャレンジ学習1〉 ~表現の工夫について考えましょう~

・あなたが心に残ったところを、あなたが「感じたこと」が伝わるように表現するためには、どんなことに気を付けて歌うとよいと思いますか。

・情景が思い浮かぶように、更に、くり返し歌って練習しましょう。

〈チャレンジ学習2〉

・「花」の作曲者である「滝 廉太郎」について調べてみましょう。